

事業報告

活動名	第1回倫理研修 失敗の本質 ～岩手県庁の組織論的研究～ (CPD 番号 6-11)
主催	公益社団法人 日本技術士会 東北本部 岩手県支部
日時	2025年1月25日(土) 13:15～14:45
場所	プラザおでって 大会議室 (〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-10)
参加人数等	28名

活動内容

●講演内容

講師：岩手県ふるさと振興部長 村上 宏治 氏

県庁組織には過去に多くの良いことや悪いことがあり、大々的に報道され、信用を損なった事件も複数あった。

本講演では、そうした「県庁を揺るがした大事件」を紹介し、その発生原因や組織の問題点、改善の取組について説明があったもの。古い事案が多いが、それらの発生原因や課題は現在にも共通する部分があり、業務や組織を考える時に参考となるもの。

●講演要旨

村上氏からは、岩手県庁で発生した4つの重大な失敗事例を通じて、組織的な学びと改善の重要性について御講演をいただきました。主な事例として、奥産道事件、大迫事件、大船渡入札事件、不適正経理事件を取り上げられました。

- ・ 奥産道事件の概要：平成8年度に発生した環境破壊事件。ボーリング調査業者の不適切な作業により、特別国立公園内で500mにわたる原生林が破壊され、関係者が書類送検される事態となった。
- ・ 大迫町事件の概要：平成9～10年度に発生した大迫町の展望台整備事業における不正事務処理。事業完了確認が適切に行われず、虚偽の公文書作成が行われた事例。
- ・ 大船渡入札事件の概要：平成12年度に発生した大船渡地方振興局での入札不正事件。正当な入札結果を後から変更するために虚偽の公文書が作成された事例。
- ・ 不適正経理事件の概要：平成20年度に発覚した不適正経理について、物品発注における不正処理と、その背景にあった組織文化について説明された。

村上氏は、これらの事例から組織内の情報共有、業務の進捗管理、適切なコミュニケーションの重要性を強調し、特に「1人しか知らない状態を作らないこと」の重要性を指摘されました。

また、組織内での風通しの良いコミュニケーションの実現方法や、上司としての適切なマネジメントについても言及されました。

(文責 佐藤充弘)



講師の村上氏



講演の様子